

令和3年度（令和2年度対象事業）  
笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果  
に対する改善への取組について

令和3年度（令和2年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
<p>図書館サービス事業</p> <p>市立図書館（笠間・友部・岩間）</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においていろいろ工夫されている状況がわかった。</li> <li>・気軽にそして楽しい図書館になるよう事業の継続をしていただきたいと思う。</li> <li>・居場所としての利用目的の多様化に伴う環境整備の視点を新たなものにしていく必要がある。アンケート調査などで利用者のニーズを適格に把握する必要がある。</li> <li>・電子図書館については、高齢者も利用できる、利用したいと思える工夫があると良い。子供や高齢者の家庭へのフォローが望まれる。利用案内に利用の流れの記載、ミニ講座、専用チラシの作成をしたらどうか。</li> <li>・電子図書館の学校教育との連携。小中学生を中心に講習会を開催してみてもどうか。（学校にしながら図書館資料を利用できる）</li> <li>・音声ガイドを利用した際、音読み訓読みの間違いがあった。改善を希望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも図書館利用者及び職員のコロナ感染防止対策を徹底するとともに、リラックスして利用できる雰囲気づくりに努めてまいります。</li> <li>・蔵書資料の提供から館内での視聴や情報検索端末設置など、利用に応じた対応をしております。また、これまでとは異なり新たな取り組みとして、カフェやBGMが流れ、リラックスできる空間などが求められる時代の中で、利用者の要望などを把握し、安心して快適な環境整備を進めてまいります。</li> <li>・公共施設や学校をはじめ、市内各駅やショッピングセンターなどへのポスター掲示やホームページ、SNSなどでの情報発信を行っております。今後も広報誌や「図書館だより」などを通し、使い方の掲載など利用促進を図ってまいります。</li> <li>・電子図書館を利用するにあたり登録が必要になることから、学校と連携しサービスカードの発行を推進します。</li> <li>・読み間違いや抑揚などについては、提供事業者へ改善点など情報提供を行っており、今後も随時対応いたします。</li> </ul>
<p>給食管理事業</p> <p>おいしい給食推進室</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な給食の提供はどの子にとっても望ましいことです。衛生面の注意点検や施設の維持管理、老朽化を改善し、温かい給食を提供していただきたいと思う。</li> <li>・学校における学習（指導）の連携をさらに深めてほしいと思う。</li> <li>・自校給食からセンターへの移行に伴い「食」の意識、体験の機会が乏しくならないような工夫、教育現場との連携をお願いしたい。調理員の作業風景や、香りを五感で感じるにより「食べること」への感謝につながり、教育につながるのではと思い、何らかの形で補償が必要ではないかと思う。</li> <li>・子供たちに人気のレシピなどを教えていただきたい。食育の観点から、栄養士や作っている方の話を聞く機会を設けてはどうか。</li> <li>・メニュー決定の機会をなるべく多くの子供ができるよう工夫してほしい。（作る苦労がわかり愛着がわくのではないか）</li> <li>・急な学校休校による食材のロスはでなかったのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理について、毎日の点検に加え、定期的に第三者による検査も行っております。</li> <li>・施設の維持管理については、保守点検の委託や老朽化した備品の更新や修繕を行っています。安全安心な給食提供のため、今後ともこれらの取り組みを継続します。</li> <li>・毎年度、栄養教諭による食に関する指導等を実施しており、子供が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学習の機会を設けています。調理員の作業風景については校外学習等により、見学スペースからの見学や話を聞ける機会を検討してまいります。</li> <li>・野菜等の食品ロスはありましたが、保存ができる食材については次月の献立を変更して使用し、極力ロスを抑える対策をしてまいりました。</li> </ul>
<p>公民館講座運営事業（友部）</p> <p>市立公民館（友部）</p>	<p>改善し、継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあり、運営の工夫が必要ななか、オンライン講座の取り組みは素晴らしい。参加してみたいと思った講座があげられていた。多くの市民が積極的に参加できる工夫を考えてほしい。</li> <li>・かさま志民オンライン講座の視聴期間は何日か設けているのでしょうか。</li> <li>・オンライン講座はとても良い取り組みだと思う。幅広い年代層が利用できるよう従来の講座、専門的講座、オンライン講座の幅広い実施を願います。</li> <li>・オンライン講座の効果と実体がわかりづらい点について、申し込み制のクローズドにてアンケートや実体の把握をする必要がある。</li> <li>・公民館をもっとオープンな、身近な存在としての社会教育施設場所にしてほしい。子供が興味を持つような講座を行って頂ければ一緒に参加できるので、さらなる検討をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も現在の社会情勢に合った企画を模索しながら、幅広く多くの市民に対して魅力的な講座となるよう講座内容の拡大充実を努めます。また、成果を検証するためのアンケートの手法についても検討します。</li> <li>・オンライン講座視聴期間の期限は原則設けておりません。</li> <li>・今後も親子で受講できる内容などを取り入れるとともに、SNSなどを使った情報発信を行うなど、子ども大学並びに志民大学親子講座の拡大充実を努めます。</li> </ul>
<p>かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業</p> <p>スポーツ振興課</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ますますの発展を期待したい。この事業の輪を県内国内国際的に広げていただけるといいと思う。</li> <li>・県外の参加者も多いとのことで、宿泊や観光を伴う参加者を全国から集めることに、経済的な振興に寄与すると感じた。笠間市の魅力発信に結びつくと思うので継続を希望する。</li> <li>・地域の特性を活かしたマラソン大会は今後とも増加すると思うので、県内外へのPRの方法を工夫するとよいと感じた。引き続き愛される大会を目指してほしい。</li> <li>・参加者のコメントが好意的なものが多く、大会の良さが伝わる。笠間焼のプレゼントも良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐日エチオピア大使館と連携し、エチオピアからトップアスリートを招待し参加者との交流を継続するほか、県内外から多くの外国人を含む参加者にエンタリーしていただけるよう、SNSなどを活用し情報発信をしていきます。</li> <li>・県内外の方々に笠間を感じていただける機会として、笠間焼をはじめとする地場産品を参加賞などとしての提供を継続するとともに、インバウンドによる地域振興を図るため、観光や文化についてSNSなどを活用し情報発信をしていきます。</li> </ul>

令和3年度（令和2年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
スポーツ推進委員活動支援事業	改善し、継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの笠間市のスポーツ事業を支援してくれる若者を増やす。学校の部活動が地域部活動に移行するが、地域の部活動に参加している高校生、大学生も社会人になった折に、<u>スポーツ推進委員に参加してもらえるような、長期的な見直しや改善をお願いしたい。</u>本来の目的に沿った活動がなされるよう、スポーツ事業への協力以外に何ができるのか検討願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ内に「スポーツ推進委員」紹介ページを作成し、推進委員制度の周知や活動内容などを紹介していきます。</li> </ul>
スポーツ振興課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の育成の場があっても良いのではないかと。子供と保護者も一緒に学べる機会作りが必要ではないかと。委員の若返りをぜひ図ってほしい。</li> <li>・64年前に発足した制度が、現在も形骸化して残っている状況は適切ではない。<u>存続が必要なのであれば、事業の目的やあり方を明確にし改革を図ってほしい。</u></li> <li>・他市町村との課題の共有をしたり、<u>委員の活動の周知の広報の機会</u>を設けてはどうか。</li> <li>・委員のみではなく<u>プロの指導をいただくのはどうか。</u>予算的に難しいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ事業以外への活動協力方法について模索します。</li> <li>・資質向上などの委員研修については、県と水戸地区（笠間市他10市町で構成）での広域研修会が定期的に開催されており、市委員への積極的な参加を呼び掛けています。委員の若返りについては、水戸地区協議会内でも共通の課題であり、改善策を協議している中で、定年制の案もありますが、<u>根本的な打開策がない現状です。</u>本市としては、市ホームページ等で令和4年度の新任委員募集を行うなど、委員の若返りを図ってまいります。</li> <li>・スポーツ推進委員会議で委員の在り方・目的を改めて共有します。</li> <li>・他市町村とは水戸地区協議会や県協議会で意見交換や情報共有を行っています。周知については市ホームページ内に「スポーツ推進委員」紹介ページを作成し、<u>活動内容を含めた周知</u>を行っています。</li> <li>・笠間市だけでなく他市町村でもプロ指導が難しいという課題から、茨城県や水戸地区での広域研修会が定期的に開催されています。市委員の研修会参加者が増えるよう協力を依頼してまいります。</li> </ul>
成人式事業	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体での例として、開催単位を学区にし地域の人にも祝ってもらい取り組み、記念作品の作成、当人たちのアトラクション披露のステージ開催等、<u>成人する人たちの様々なアイデアを柔軟に取り入れ、感謝の想いを持てる成人式を模索したら良いと思う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体における取組み事例も参考にしながら、<u>実行委員会と連携してより良い成人式を開催</u>してまいります。</li> </ul>
生涯学習課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策をしっかりと行い、今後ともより良い式となるよう実行委員会の支援をお願いしたい。<u>抗原検査キットは参加者の安心につながるので行ったほうが良い。</u></li> <li>・記念品の内容がとても良い。<u>記念撮影は必要かと思う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、適切に対応してまいります。</li> <li>・感染対策を取りながら記念撮影を行ってまいります。</li> </ul>
筑波海軍航空隊展示運営事業	改善し、継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興にもっと役立て、<u>歴史遺産として今後とも大切にしていきたい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波海軍航空隊記念館は、日本最大規模で現存する戦争遺構、特攻という悲劇の地という特徴を持つ貴重な文化遺産であるため、企画展や講演会を更に充実させ、市内外に様々な方法で周知を行い、子ども達を含む幅広い年代の方へ戦争の記憶の継承を図り平和の表現に役立ててまいります。</li> <li>・常設展示については、年に1回の展示リニューアルを実施し、企画展についても年間2回～4回開催しておりますが、内容を含め更なる工夫をしております。</li> </ul>
生涯学習課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和教育の体験施設として、市内県外へのPR等知名度を上げていただき、学校教育との連携を検討願います。<u>学校向けPR（無料であること）の拡充</u>をお願いします。</li> <li>・子供に親しみやすい名称を募集する。オンラインを活用して、<u>他県の方にも観てもらうようにPRしてはどうか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の連携については、校長会や学校に訪問し、筑波海軍航空隊の説明をするなど、PRや見学の推進を行っているところではありますが、<u>更なるPRに努めてまいります。</u></li> <li>・名称変更はできませんが、子供に親しみやすい様に、筑波海軍航空隊の案内人キャラクター「友部 空くん」を案内パンフレットに掲載しており、また現在は、館内の空くんによる案内パネル等を作成中です。</li> <li>・遠方の方や各学校でも見られるようにYouTubeなどでの案内・講演会の発信も検討しているところです。</li> </ul>
適応指導教室事業	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への復帰と社会的自立を促す組織であってほしいが、学校への復帰だけが目標ではなく、<u>個々に合わせた自立を目標とする</u>ところがとても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人や家庭環境等の変化から、不登校となる児童生徒の居場所づくりや本人の自立を目的とした事業となるように、<u>学校や教育支援員へのさらなる周知・徹底</u>してまいります。</li> </ul>
学務課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なサポートを提供し、工夫改善に取り組んでほしい。送迎は良い取り組みと感じた。</li> <li>・十分な予算の拡充、<u>児童生徒と保護者の心のケア</u>をお願いしたい。</li> <li>・社会の変化に伴い、登校できない子供を「自宅を離れて通う」ことを大切にしつつ、<u>学校を含めた卒業後の進路との連携協力体制の構築</u>が必要と感じる。</li> <li>・適応指導教室を知らない方への活動内容の周知を図ってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室が学習の補充の場だけでなく、<u>集団活動の適応や道徳心を身につけさせる場としての機能</u>を持たせるため、校外学習や自然体験活動など創意・工夫のある取り組みを実践してまいります。</li> <li>・児童生徒の特性や将来の夢や目標等を発達段階に応じて持たせる工夫および、<u>キャリア教育としての「将来の生き方」</u>を考えさせる場を設けてまいります。</li> <li>・学校だよりや保護者会・保護者面談、学校評価委員会等において、<u>広報・案内活動を充実</u>させてまいります。</li> </ul>

令和3年度（令和2年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
GIGAスクール整備事業	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の先生のご苦勞は図りしれないと感じる。改めて感謝する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月のオンライン授業では、先生方が授業の流れについて共通理解を図り、丁寧に準備を行った成果が出ました。今後も校内での先生同士の実践の共有を図ったり、共有フォルダを活用して他校の実践例を取り入れ改善を図る取り組みをしてまいります。</li> </ul>
学務課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業が想像以上にスムーズで驚いた。ICTを活用した学習方法を多様な生徒に拡充願いたい。</li> <li>・個々の学習レベルと特質に沿った指導が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIドリルを使った学習や動画教材を使った課題別学習などを取り入れ、個別最適化された学習を進めていきます。また、不登校児へのオンライン授業の対応も進めていきたいと考えております。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT研究会、ICT指導員を活用し、児童生徒に限らず教職員への知識と技能の拡充をする機会を作ってほしい。</li> <li>・ICT教育は教職員の力量、機材、指導法によって指導効果に差が出ると思われる。研修の充実と情報共有は急務と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用教育研修会は毎月1回開催し、研修や情報共有を続けていきます。</li> <li>・各学校ごとの研修が重要になってくるので、ICT教育指導支援員を積極的に活用していきます。例えば、学校巡回時における先生方への個別質問の対応や、校内研修を実施することで、教員の指導力向上を図ってまいります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でも様々な差があり、定期的指導・相談サポート体制が必要と常々感じる。</li> <li>・ICTが苦手な保護者に理解が深まるよう、説明や操作研修を設けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での端末の利用の仕方トラブルが起きているケースもあるため、定期的に注意喚起をしたり、ルールの確認をしたりする機会を設けます。</li> <li>・使い方についてのマニュアルや、動画をホームページ等で案内してまいります。</li> </ul>